



## 平成29年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年7月28日  
上場取引所 東

上場会社名 協栄産業株式会社  
コード番号 6973 URL <http://www.kyoei.co.jp>  
代表者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 水谷 廣司  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員 (氏名) 市河 明 TEL 03-3481-2111  
四半期報告書提出予定日 平成28年8月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第1四半期の連結業績（平成28年4月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第1四半期	11,422	△13.3	△364	—	△387	—	△545	—
28年3月期第1四半期	13,172	△3.5	△169	—	△168	—	△172	—

(注) 包括利益 29年3月期第1四半期 △947百万円 (—%) 28年3月期第1四半期 64百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第1四半期	△17.88	—
28年3月期第1四半期	△5.67	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第1四半期	32,260	13,173	40.8
28年3月期	34,453	14,182	41.2

(参考) 自己資本 29年3月期第1四半期 13,173百万円 28年3月期 14,182百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	2.00	—	2.00	4.00
29年3月期	—	—	—	—	—
29年3月期(予想)	—	2.00	—	2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想（平成28年4月1日～平成29年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	28,000	△0.0	100	80.4	100	125.5	70	—	2.30
通期	56,000	4.1	300	123.3	250	264.1	200	—	6.56

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期1Q	31,935,458株	28年3月期	31,935,458株
② 期末自己株式数	29年3月期1Q	1,444,327株	28年3月期	1,443,786株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期1Q	30,491,403株	28年3月期1Q	30,497,525株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(2) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用環境の改善や企業の潤沢なキャッシュフローによる省力化・合理化需要向けの設備投資に支えられてきたものの、英国の欧州連合(EU)離脱問題などの影響を受け、円相場が円高方向へ急速に転化するなど、企業業績や景況感を下押しする圧力の影響を受けながら推移いたしました。

また、海外においては、米国経済は個人消費が底堅く、企業部門に持ち直しの兆しがみられるなど緩慢ながらも成長が続いていますが、緩やかな減速基調にある中国経済や景気の後退が続いている一部の新興国経済などの影響もあり、依然として先行きは不透明な状況で推移いたしました。

このような情勢の下で、当社及び当社の子会社(以下当社グループ)が持つそれぞれの機能の融合と、グループ間及び部門間相互の連携により、顧客ニーズに対する速やかな対応や積極的な営業活動の推進を図るとともに、諸経費の削減など収益改善に努めてまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は114億2千2百万円、前年同期に比べて13.3%の減収、営業損失は3億6千4百万円(前年同期営業損失1億6千9百万円)、経常損失は3億8千7百万円(前年同期経常損失1億6千8百万円)。親会社株主に帰属する四半期純損失は客先からの預り在庫を誤廃棄したことによる損害賠償金1億4千5百万円を特別損失に計上したこともあり、5億4千5百万円(前年同期親会社株主に帰属する四半期純損失1億7千2百万円)という成績になりました。

セグメントの概況は以下のとおりです。

なお、当第1四半期連結会計期間より、「IT部門」を「ICT部門」へ名称変更しております。

## (商事部門)

- ・売上高 91億2千3百万円 (前年同期比13.6%減)
- ・営業利益 9百万円 (前年同期比88.2%減)

商事部門においては、売上は低調に推移し、利益面も低調となりました。

事業別の詳細は以下のとおりです。

## &lt;半導体デバイス事業&gt;

半導体分野では、自動車関連は、国内は順調に推移いたしました。北米及びASEAN向けが伸び悩むとともに円高による目減りもあって低調に推移いたしました。また、白物家電関連、産業機関連は、ともに熊本地震による一部商品の供給減少の影響を受けましたが堅調に推移し、全体としては堅調に推移いたしました。

電子デバイス分野では、スマートフォン関連ならびに産業機関連ともに低調に推移いたしました。

電子材料分野では、主要取り扱い商品の減少により、低調に推移いたしました。

## &lt;FA・環境システム事業&gt;

産業メカトロニクス分野では、電子部品向部材用加工機が伸長し、順調に推移いたしました。

FA機器分野では、産業機関連は堅調に推移いたしました。

環境ビジネス分野では、空調機設備等の省エネ関連が順調に推移いたしました。

## (ICT部門)

- ・売上高 9億1千3百万円 (前年同期比5.3%減)
- ・営業損失 6千1百万円 (前年同期営業損失0百万円)

ICT部門においては、全般に受注は堅調に推移いたしました。システム開発案件の障害対応が長期化したため利益面は低調となりました。

なお、ICT部門では、9月及び3月に売上及び利益の計上が集中する傾向にあります。これは従来からの業界傾向であります。

事業別の詳細は以下のとおりです。

## &lt;ビジネスソリューション事業&gt;

ビジネスソリューション事業は、大型リプレース案件の受注もあり、受注は順調に推移いたしました。前期からのシステム開発案件で障害対応が長期化したため利益は低調に推移いたしました。

サービス提供型ビジネスは、好調に推移いたしました。

建設関連のパッケージ販売は、堅調に推移いたしました。

受託ソフト開発は、電力関連向けを中心に堅調に推移いたしました。

## &lt;エンベデッドシステム事業&gt;

エンベデッドシステム事業は、アミューズメント系システムや、公共業務関連、自動車関連の受託開発が堅調に推移いたしました。

<IC設計事業>

IC設計事業は、主要顧客からの受注により順調に推移いたしました。

(製造部門)

- ・売上高 14億2百万円 (前年同期比15.9%減)
- ・営業利益 4百万円 (前年同期比89.0%減)

製造部門においては、売上は堅調に推移いたしましたが、利益面においては低調となりました。

<プリント配線板事業>

アミューズメント向け基板は、低調に推移いたしました。

車載向け基板は堅調に推移いたしました。また特殊技術を活用したLEDヘッドランプ向けモジュール基板は、順調に推移いたしました。

利益面では国内市場縮小に伴う価格競争により低調に推移いたしました。

海外で行っているフレキシブル基板ビジネスは、熊本地震の影響により納入先での生産調整が生じたため低調に推移いたしました。

(2) 財政状態に関する説明

資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べて21億9千3百万円減少し、322億6千万円となりました。

- ・流動資産は、受取手形及び売掛金21億6千8百万円の減少、電子記録債権2億1千7百万円の減少、仕掛品3億3千2百万円の増加等により、18億4千9百万円減少し、251億5千1百万円となりました。
- ・固定資産は、投資有価証券3億2千3百万円の減少等により、3億4千3百万円減少し、71億8百万円となりました。
- ・流動負債は、支払手形及び買掛金9億2千万円の減少、賞与引当金1億8千6百万円の減少、短期借入金1億4千9百万円の減少、電子記録債務5億1千8百万円の増加等により、7億2千5百万円減少し、144億2千2百万円となりました。
- ・固定負債は、長期借入金3億3千万円の減少等により、4億5千9百万円減少し、46億6千3百万円となりました。

この結果、純資産は、10億8百万円減少し、131億7千3百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の41.2%から0.4ポイント減少し、40.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第2四半期累計期間および通期の業績予想につきましては、現時点では平成28年5月12日に公表いたしました数値から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の営業損失、経常損失及び税金等調整前四半期純損失はそれぞれ、143千円減少しております。

(2) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,438,602	3,592,151
受取手形及び売掛金	14,620,340	12,451,908
電子記録債権	1,896,299	1,679,174
商品及び製品	5,906,453	5,931,720
仕掛品	682,781	1,014,929
原材料及び貯蔵品	164,450	182,778
繰延税金資産	67,237	63,506
その他	229,594	238,324
貸倒引当金	△4,010	△2,573
流動資産合計	27,001,749	25,151,920
固定資産		
有形固定資産	2,819,227	2,765,148
無形固定資産	576,910	567,882
投資その他の資産		
投資有価証券	2,921,562	2,598,232
退職給付に係る資産	399,963	407,690
その他	819,842	855,346
貸倒引当金	△85,475	△85,475
投資その他の資産合計	4,055,892	3,775,794
固定資産合計	7,452,031	7,108,825
資産合計	34,453,780	32,260,745
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,145,118	7,224,512
電子記録債務	293,805	811,826
短期借入金	3,802,958	3,653,751
1年内返済予定の長期借入金	1,470,000	1,395,000
未払法人税等	11,726	9,238
賞与引当金	286,570	99,976
工事損失引当金	39,527	52,440
事業構造改善引当金	130,000	8,194
その他	968,792	1,168,031
流動負債合計	15,148,498	14,422,971
固定負債		
長期借入金	3,910,000	3,580,000
繰延税金負債	612,231	512,600
その他	600,621	571,185
固定負債合計	5,122,853	4,663,785
負債合計	20,271,352	19,086,756

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,161,819	3,161,819
資本剰余金	3,120,235	3,120,235
利益剰余金	6,949,000	6,342,793
自己株式	△420,483	△420,553
株主資本合計	12,810,572	12,204,294
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,104,913	879,611
為替換算調整勘定	191,237	9,793
退職給付に係る調整累計額	75,704	80,288
その他の包括利益累計額合計	1,371,856	969,694
純資産合計	14,182,428	13,173,989
負債純資産合計	34,453,780	32,260,745

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
売上高	13,172,497	11,422,540
売上原価	11,749,389	10,164,693
売上総利益	1,423,107	1,257,846
販売費及び一般管理費	1,592,992	1,621,950
営業損失(△)	△169,884	△364,103
営業外収益		
受取利息	366	90
受取配当金	37,837	37,517
その他	10,505	10,781
営業外収益合計	48,709	48,388
営業外費用		
支払利息	29,365	31,199
為替差損	1,719	27,845
債権売却損	4,075	1,784
その他	11,965	10,493
営業外費用合計	47,125	71,322
経常損失(△)	△168,300	△387,037
特別利益		
投資有価証券売却益	24,791	—
特別利益合計	24,791	—
特別損失		
固定資産除却損	5,751	885
損害賠償金	—	145,638
特別損失合計	5,751	146,524
税金等調整前四半期純損失(△)	△149,260	△533,561
法人税、住民税及び事業税	13,584	10,323
法人税等調整額	9,964	1,339
法人税等合計	23,548	11,662
四半期純損失(△)	△172,809	△545,224
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△172,809	△545,224



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)
四半期純損失(△)	△172,809	△545,224
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	203,595	△225,302
為替換算調整勘定	38,384	△181,443
退職給付に係る調整額	△4,749	4,584
その他の包括利益合計	237,230	△402,162
四半期包括利益	64,421	△947,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	64,421	△947,386

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I C T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	10,546,081	960,118	1,666,298	13,172,497
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	18,018	4,347	1,126	23,492
計	10,564,099	964,465	1,667,424	13,195,990
セグメント利益又は損失(△)	84,238	△159	38,486	122,566

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	122,566
全社費用(注)	△292,451
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△169,884

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

## Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			
	商事部門	I C T部門	製造部門	合計
売上高				
(1) 外部顧客への売上高	9,109,888	910,202	1,402,450	11,422,540
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	13,120	3,121	—	16,242
計	9,123,009	913,323	1,402,450	11,438,783
セグメント利益又は損失(△)	9,912	△61,374	4,220	△47,241

(注) 当第1四半期連結会計期間より、報告セグメントの名称を変更しており、従来の「IT部門」を「ICT部門」へ変更しております。当該変更は、名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報についても、変更後の報告セグメントの名称で記載しております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△47,241
全社費用(注)	△316,862
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△364,103

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。